



# 支えあって 小さな

## アパコミごましお会



「アパコミごましお会」の名前を聞いて、どんな活動団体なのかと興味を持ちました。取材の朝、代表の中尾暁広さんとアパガーデンプレイス臼井の玄関前へ行くと皆さんに迎えられ、毎朝 8時30分から続けられているラジオ体操に参加しました。このラジオ体操は「住民同士が知り合うきっかけとなれば」と始められ、毎朝顔を合わせることで、参加者同士の交流、情報交換の場となっています。また、朝出かけて行く方に「おはようございます。行ってらっしゃい。」と声かけ合う姿は、朝からさわやかな気分になります。道路植樹帯には、季節の花を子どもたちも参加して植え替えて、道行く人の目を楽しませています。



毎朝のラジオ体操を中心に、道路植樹帯花の植栽と維持、登下校時の見守り、挨拶運動、他。活動日：随時

この会は「子どもから大人まで、だれでも参加できる縛りのない緩やかな会」として続けられています。ボランティア活動への参加協力など「何でも住民から喜ばれることがあれば喜んでいたします」と積極的な活動の輪が広がっています。

参加されている方たちは、「毎朝顔を合わせることで知り合いがたくさんできた」「笑顔でお互いに挨拶することで家庭も円満!」「規則正しい生活」「ひとり暮らしだが横の繋がりができて安心して暮らせている」など皆さん笑顔でお話してくださいました。取材：稲村



## 手をつなぐ・さくら

7月3日、「手をつなぐ・さくら」の活動の一つである「わたしのたまり場」(場所：ユーカリが丘、ギャラリーリーベ)にお伺いしました。「障がいのある人もない人も、誰もがお互いの立場を尊重し、支えあいながら安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指しています」という活動理念のもと、月2回開催され、どなたでも気軽に立ち寄れるよう心配りしています。

この日の参加者はグループホームの方やご近所の方で、おしゃべりしたり、二階で昼寝をしたり、それぞれが自由に過ごしていました。参加された方にお聞きしたところ「昼食に好きなものを買って、おしゃべりしながら食事をするのが楽しいです。」と話され、みなさんのリラックスした楽しそうな顔が印象的でした。



2006年に発足以来、障がいについての啓発活動の一環として、福祉講座や映画会、ミュージカルなどを開催しています。任意団体の「モモの広場」と野外でピザ作り、障がい者支援施設への出前喫茶、他団体のお手伝いなどを行っています。

代表の伊藤澄子さんは、障がいのある人と一緒に声をあげ様々な活動をされてきた方です。まずは障がいについて正しく知って欲しいという強い思いで、パワフルに活動していらっしゃいました。取材：黒沢



「わたしのたまり場」を中心に出前喫茶や学習会など、障がいについて知ってもらう活動。活動日：月2回 第1日曜日・第3水曜日、他。

# 幸せ いっぱい~い!



## ガールスカウト千葉県第84団

7月24日、岩名運動公園青少年センターでの、ガールスカウトのキャンプを取材しました。今回のキャンプは4年に1回行われるガールスカウト千葉県連盟主催のキャンプ(8/18~21の3泊4日、長野県戸隠)に向けての訓練(7/24・25の1泊2日)です。当日9時45分から開村式が始まり、その後2つのテント設営をしました。



1つ目のテントはジュニア(小学4~6年生)7名で、2つ目はシニアとレンジャー(中学生、高校生)4名で設営しました。ジュニアはこれまでの経験が少なく、リーダーの指導のもと、炎天下の中12時少し過ぎに終了しました。シニアとレンジャーは30分遅く始めましたが、黙々と作業を行い、さすが12時には完了しました。設営中は、スカウト全員真剣です。日頃慣れない力仕事、特にジュニアには辛いのではと心配しましたが、テントが立派に完成した時には、全員ほっとした様子で充実感を感じられました。



自ら考え行動する力、高い自己肯定感やリーダーシップ能力をつける。地域の社会貢献活動。活動日：毎月2回、他。

昼食のカレーを食べる表情はとっても明るく、晴れやかでした。千葉県連盟主催のキャンプでのご成功を祈っています。その他の活動として、ユーカリ優都苑や佐倉ホワイエでクリスマスコンサートを毎年恒例で行っています(団員手作りのクリスマスプレゼント約400個を準備)。国道296号(鹿島川横)の歩道の花壇の整備や募金活動、清掃活動などで社会に貢献しています。

取材：中尾

### 個人ボランティア

## 稲村多恵子さん



障がい者の支援活動ほか、多方面で活動。活動日：随時

稲村さんは、根郷地区を中心に個人ボランティアをしています。7月9日、所属するNPO「さくら組」のダンスの練習を取材しました。「さくら組」は、さくらんぼ園(未就学の障がいのあるお子さんの療育園)の卒業生とお母さま、音楽療法士の穴戸正実先生を中心に、ダンス指導の先生、ボランティアで構成されているダンスチームです。年1回の「さくら組」のスマイルコンサートや南部福祉まつりなどで発表しています。1曲目はフラダンスでお馴染みの「虹」を男性はアロハシャツ、女性はパウスカートを着用して綺麗に舞い、2曲目の「だいじょうぶ」では歌に合わせてやさしく手話でダンスされ、打って変わって「黄金魂」と「睡蓮花」では力強いダンスで、稲村さんがとてもいきいきとしているのが印象的でした。「さくら組」のみなさんが「頼りにしています」とおっしゃっていました。ご自身で作られたリボンレイも素敵でした。



その他にも傾聴ボランティアなど多方面で活躍されているエネルギッシュな稲村さんを尊敬します。ご協力いただいたみなさんありがとうございます。

取材：鈴木